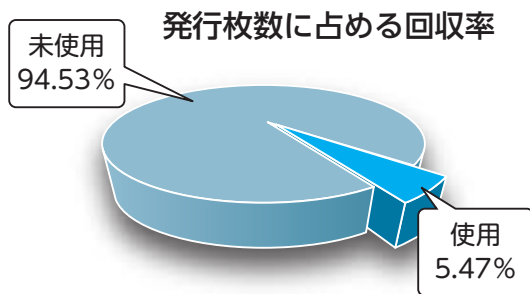


# 新型コロナウイルスが及

## 結果の考察

第1次「割引クーポン発行事業」が6月30日で終了しましたので、その結果を報告します。

総発行枚数 130000枚  
使用された枚数 7105枚



クーポン券1枚当たり50円の事業者負担があり、参加しない店舗もありました。また、実施時期が外出自粛要請期間と重なり、予定した経済効果が少なかったと思われる。

※現在、事業者負担を軽減し、第2次「割引クーポン券発行事業」がスタートしています。

## 新型コロナウイルスの影響から生じた事業の状況

事業名	当初予算額	状況
・ 札沼線廃線イベント	200万円	中止
・ 陶芸まつり	45万円	中止
・ 追悼式 開町記念式典	418万1千円	縮小
・ 児童・生徒母村交流事業	172万1千円	中止
・ ピンネシリ登山マラソン	47万1千円	中止
・ 130年記念人文字アート	56万円	中止
・ ふるさとまつり	453万8千円	中止
・ 長寿を祝う会	175万円	中止



執行されなかった予算額が全て不用額になるとは限りません

## 今後の施策の見通しと予算の組み換えの方向性

コロナ禍の終息が見えないなか、経済対策と感染拡大予防対策を、どのように組み立てていくかが大変難しい状況となっております。

各対策事業も現在は、国からの地方創生臨時交付金（1次配分7619万6千円、2次配分2億5268万3千円）を財源として実施されていますが、今後、その財源に余裕が無くなるのが危惧されます。

町長は、第2回定例会の一般質問の答弁のなかで、「当初予算に計上した事業が執行



## 今後議会として注視していかなければならないこと

議会としても、各常任委員会、全体会等で協議し、各担当課に対して、情報提供や提言をしていかなければと思っています。

実行されている対策事業の検証をしながら、随時特集していきます。

- ・ 子育て世帯への支援は十分か
- ・ 児童生徒の教育環境に支障はないか
- ・ 住民の生活に支障はないか、特に高齢者の環境はどうか
- ・ 商工業者への支援事業の効果を検証
- ・ 農業者への影響把握と、影響があった場合の施策の構築



ここに注目！

できないといった状況も発生しているので、必要となる新型コロナウイルス関連対策事業があれば、第3回定例会において予算の組替えを行い、事業財源として有効に活用していくこの方針を述べています。